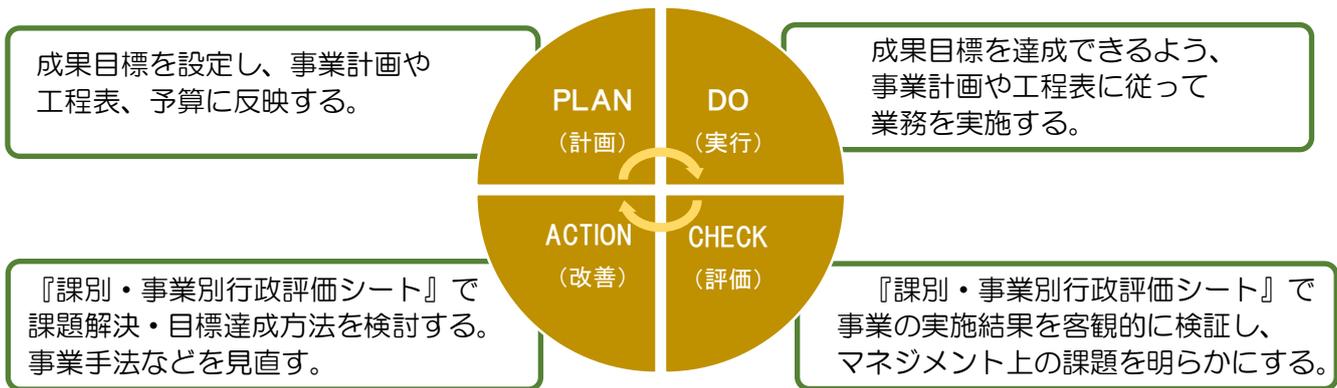


6 予算におけるその他の取り組み

(1) 新公会計制度を活用した予算編成について

町田市は、2012年4月から市町村としては全国で初めて、日常の会計処理の中で複式簿記を行う新公会計制度を導入しました。2018年8月に公表した『平成29年度(2017年度)町田市課別・事業別行政評価シート』で検討した、課題解決・目標達成に向けた今後の取り組みを実現できるように、2019年度当初予算に反映させました。

新公会計制度による行政サービスの見える化と、予算編成を含むPDCAサイクルの実施により、市民サービスの向上を図ります。



『平成29年度(2017年度)町田市課別・事業別行政評価シート』で検討した取り組みを、2019年度当初予算に反映した件数・金額は以下のとおりです。

区分	予算に反映させた取り組み	件数	予算反映額
1	成果向上に向けた取組強化	43件	491,609千円
2	行政運営の見直しによる減	14件	54,290千円
3	歳入確保	10件	490,421千円
	予算反映額 合計	67件	1,036,320千円

予算編成に反映させた具体的な取組みについて、3つの区分ごとに紹介します。

区分	担当課	課題解決、目標達成に向けた今後の取り組み	成果指標	2019年度目標	2018年度成果目標	取組項目	課題解決、目標達成に向けて、予算編成で工夫した内容	2019年度予算額(千円)	2018年度予算額(千円)	予算反映額(千円)
1	地域福祉部福祉総務課	地域の实情に即したきめ細やかな支援活動を行うことができる市民後見人の育成に取り組めます。市民後見人の意欲と質の向上のためにフォローアップ研修を実施するほか、より活動しやすい環境や仕組みづくりについて検討します。	市民後見人登録者数(累計)	60人	50人	後見人候補者の養成及び支援	市民後見人育成研修がより受講しやすいものとなるよう、ビデオ視聴での補講による単位取得を認めるため、研修の撮影費用を計上しました。	5,588	5,023	565
2	政策経営部広聴課	総合案内人の案内品質の維持・向上を図るため、「庁舎総合案内マニュアル」、「単語検索」や「よくある質問と回答(FAQ)」の内容を定期的に見直し、活用を推進することで、適切な案内ができるようになります。				庁舎総合案内業務委託	「庁舎総合案内マニュアル」、「単語検索」や「よくある質問と回答(FAQ)」の内容を定期的に見直し、活用を推進することで、効率化を図り、時間を短くすることで委託料を削減しました。	15,566	15,941	375
3	都市づくり部公園緑地課	町田市立陸上競技場の観客席増設工事について、投資額の適正化に努めるとともに、国、東京都及び関係団体等の各種補助金等の探求、民間資本等の活用を検討します。				広告掲載料	町田市立陸上競技場を対象とし、公共サービスの維持・向上を図るため、民間事業者等から対価を得て公共施設に名称を付する命名権を付与する事業(ネーミングライツ)を行います。	5,000	0	5,000

(2) インセンティブ予算付与状況

インセンティブ予算とは、各部の創意工夫による経費節減や財源確保などの取り組みを評価し、別枠で配分する予算で、2007年度予算から導入したものです。2016年度予算からは、「ふるさと納税促進策各部提案制度」を創設し、各部の積極的な創意工夫を活かして、ふるさと納税の増加につながる返礼品を提案する促進策に対しても、インセンティブ予算を付与しています。

2019年度予算は、10件（前年度11件）の経費節減等の取り組みと2件（前年度2件）のふるさと納税促進策に対してインセンティブ予算を付与しました。

内訳は次のとおりです。

取り組みの種類	付与件数	効果額	付与額
①経費節減	1件	3,166千円	6,332千円
②財源確保	6件	14,098千円	34,363千円
③未利用地の活用	3件	70,741千円	35,370千円
④ふるさと納税促進策	2件	—	1,250千円
合計	12件	88,005千円	77,315千円

上記の他に2017年度から引き続き各部に付与している4,560千円と2018年度に付与した5,533千円のうち2019年度に充当する403千円を合わせて、総額82,278千円のインセンティブ予算を付与しました。

■新たにインセンティブ予算を付与した主な取り組み

①経費節減の取り組み

○観光バスの発着にかかる施設使用料の徴収方法の見直し（経済観光部）

観光バスの発着にかかる施設使用料について、発着当日に現地で行っていた使用料の徴収を、当月分をまとめて月末に納付書払いへと見直したことにより、現地での使用料の徴収にかかる経費を削減しました。

◎経費節減額 3,166 千円 ◆インセンティブ予算付与額 6,332 千円

②財源確保の取り組み

○市民課番号案内モニターの設置（財務部）

民間事業者に市庁舎 1 階市民課に番号案内モニターの設置を許可し、庁舎利用者の利便性の向上を図るとともに、民間事業者からの施設の賃貸料を確保しました。

◎財源確保額 4,768 千円 ◆インセンティブ予算付与額 14,304 千円

③未利用地を活用する取り組み

○市有財産の活用（市民部・道路部）

未利用であった事業用地について、民間に売却します。

◎財源確保額 70,741 千円 ◆インセンティブ予算付与額 35,370 千円

④ふるさと納税促進策

○ふるさと納税の新たな使い道を追加（いきいき生活部・子ども生活部）

町田市のふるさと納税の魅力をさらに高め、町田市の魅力を市外にも幅広くPRすることを目的として、ふるさと納税を増加させる新たな使い道を追加しました。

具体的には、新たな寄附の使い道として、介護予防の場づくりなどに取り組む「親想い・まちだ想い～シニア世代が元気なまちだと まち全体が元気なまちだ。～」や、困難を抱えた子育て世代へ、手作りのお弁当をお届けし、お悩みの相談に乗る「おうちでごはん～子ども食堂を自宅へ！～」を追加しました。

◎目標寄附金額 2,500 千円

◆インセンティブ予算付与額 1,250 千円

■2017年度から2019年度までのインセンティブ予算の付与状況

単位：千円

部名	インセンティブ付与額			
	2017年度	2018年度	2019年度	合計
政策経営部	0	1,690	0	1,690
財務部	0	6,531	30,044	36,575
市民部	0	7,500	15,609	23,109
文化スポーツ振興部	432	500	0	932
地域福祉部	0	6,157	0	6,157
いきいき生活部	0	0	250	250
子ども生活部	0	1,758	1,000	2,758
経済観光部	600	770	7,612	8,982
道路部	2,760	34,000	22,644	59,404
都市づくり部	1,800	973	0	2,773
学校教育部	0	0	156	156
計	5,592	59,879	77,315	142,786

■インセンティブ予算の主な充当事業と充当額

・市庁舎の省エネ化にかかる工事費	9,471 千円	(財務部)
・庁用車へのドライブレコーダー設置費	648 千円	(財務部)
・集会施設の整備の推進にかかる補助金	15,609 千円	(市民部)
・事業者に向けた新技術の活用セミナーの開催費	441 千円	(経済観光部)
・準幹線道路整備の推進にかかる用地取得費	25,404 千円	(道路部)

(3) まちだ未来づくり基金（ふるさと納税）の使い道

町田市ではふるさと納税の使い道について、町田市の基本計画である「まちだ未来づくりプラン」に基づいた下記①から④の使い道を指定することが可能です。これらの使い道を指定してご寄附いただいたふるさと納税は、「まちだ未来づくり基金」に積み立てています。

- | |
|---|
| ①将来を担う人が育つまちをつくる（子ども・子育て・教育・生涯学習など） |
| ②安心して生活できるまちをつくる（高齢者・障がい者・健康・医療・防犯・防災・地域振興など） |
| ③賑わいのあるまちをつくる（産業振興・文化スポーツ振興・観光振興など） |
| ④暮らしやすいまちをつくる（交通・住環境・環境など） |

2019年度予算においては、2017年度に上記の使い道として積み立てたふるさと納税について、「まちだ未来づくりプラン」の後期実行計画である「町田市5ヵ年計画17-21」の推進に資する下記の事業に活用します。

①将来を担う人が育つまちをつくる

充当事業	英語教育推進事業	所管	学校教育部 指導課	特定財源の うち充当額	3,936千円
事業費	185,529千円	特定財源	3,936千円	一般財源	181,593千円
内容	「英語教育で選ばれるまちだ」を実現するため、放課後英語教室拡充や中学校ALTの増員、GTEC（スコア型の英語4技能検定）の新規実施するための費用に活用します。				

②安心して生活できるまちをつくる

充当事業	障がい者相談支援事業	所管	地域福祉部 障がい福祉課	特定財源の うち充当額	36,072千円
事業費	134,752千円	特定財源	36,072千円	一般財源	98,680千円
内容	障がい者等が住み慣れた地域で身近に相談でき、安心して生活し続けられるよう、障がいに関する総合的な相談に応じ、情報の提供及び助言、その他福祉に関する支援等を推進する費用に活用します。				
充当事業	(ア) バリアフリー化推進事業	所管	道路部 道路維持課	特定財源の うち充当額	18,741千円
事業費	18,741千円	特定財源	18,741千円	一般財源	0千円
内容	「東京2020オリンピック・パラリンピック」等に向けて、外国人等の来街者が多くなることが見込まれる町田駅周辺地区に、「視覚障がい者誘導用ブロック」設置等のバリアフリー整備を推進し、市民サービスの向上を図ります。				
充当事業	(イ) 障がい者等災害時 支援ハンダナ配布事業	所管	地域福祉部 障がい福祉課	特定財源の うち充当額	9,477千円
事業費	179,226千円	特定財源	123,162千円	一般財源	56,064千円
内容	市内に在住する障がい者等を対象に、災害時に身に着けることで、周囲に障がいがあることを知らせ、支援や助けを受けやすくするために「障がい者等災害時支援ハンダナ」を配布します。				

※(ア)及び(イ)については、次ページの【遺贈（遺言による寄附）の活用について】をご覧ください。

③賑わいのあるまちをつくる

充当事業	東京2020オリンピック・パラリンピック等国際大会推進事業	所管	文化スポーツ振興部 オリンピック・パラリンピック等国際大会推進課	特定財源の うち充当額	361千円
事業費	37,188千円	特定財源	5,431千円	一般財源	31,757千円
内容	多くの来訪者に町田市の魅力を発信する絶好の機会と捉え、ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピックに係る大会気運醸成等の費用に活用します。				

④暮らしやすいまちをつくる

充当事業	地域コミュニティバス運行事業	所管	都市づくり部 交通事業推進課	特定財源の うち充当額	995千円
事業費	23,382千円	特定財源	1,274千円	一般財源	22,108千円
内容	移動が不便な地域の移動環境を向上させるため、地域住民や交通事業者と市が協働して地域コミュニティバス等を運行するとともに、新たな公共交通サービスの導入を促進する費用に活用します。				

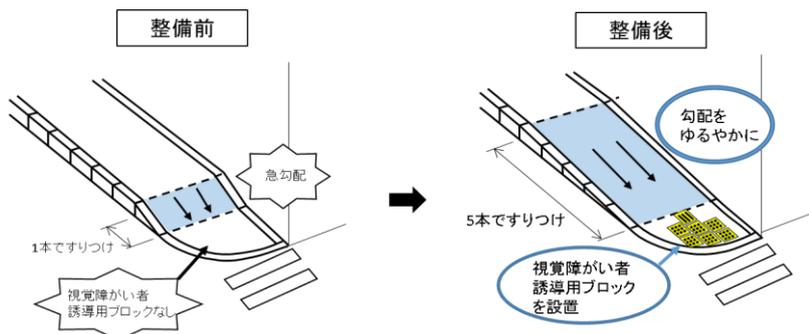
【遺贈（遺言による寄附）の活用について】

2017年度に「視覚障がい者のために」として、町田市へ遺贈（遺言による寄附）がありました。その遺言者の想いに応え、更なる市民サービスの向上を図るため、以下の（ア）と（イ）の事業に遺贈を活用します。

（ア）バリアフリー化推進事業

町田市福祉のまちづくり総合推進条例等や町田市交通マスタープランに基づき、視覚障がい者や高齢者の方など、誰もが安心して移動ができるよう、歩道のバリアフリー化を進めています。

「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」等に向けて、外国人等の来街者が多くなることが見込まれる町田駅周辺地区に、「視覚障がい者誘導用ブロック」や横断歩道近くの急勾配箇所のバリアフリー整備を推進します。



（イ）災害時支援バンダナ配布事業

視覚障がい者は、災害発生時に、より支援が必要であるにもかかわらず、周囲の気付きが得られにくい状況であるため、適切な支援や助けが受けられないことがあります。そのような課題に対して、「第5次町田市障がい者計画」に基づく災害対策の一つとして、「障がい者等災害時支援バンダナ」を市内在住の障がい者等 14,000 人へ配布します。

様々な関係機関・媒体・機会を通じて、幅広くバンダナの周知・啓発を行うことで、災害時において、障がい者等が支援を受けやすくする取組を進めます。【バンダナ(黄)着用時】



（４）補助金等及び扶助費見直し状況

2019年度の予算編成にあたっては、予算編成方針に基づき、「補助金等及び扶助費見直し」を行いました。

2016年度予算編成で段階的に見直すものとした町田市単独事業の補助金等について、2019年度予算編成において引き続き見直しを行いました。見直しを行った4件は以下のとおりです。

項番	補助金等名称	2019年度 予算額 A	2018年度 予算額 B	見直し額 A-B
①	保育所運営費加算補助金(施設運営調整費分)	41,630千円	78,807千円	△37,177千円
②	集団宿泊行事補助金	51,976千円	64,135千円	△12,159千円
③	障がい者福祉施設借上費補助金	32,278千円	44,146千円	△11,868千円
④	街路灯電気料金補助金	2,790千円	3,099千円	△309千円
合計		128,674千円	190,187千円	△61,513千円

参考資料

当初予算案ができるまで

市は、新しい年度が始まる前にこの先 1 年間に行う事業を検討し、収入と支出の見積りをします。これが「当初予算」といわれるもので、市民の代表である議会の議決を経て成立し、新しい年度が始まるとこの予算をもとに事業が行われます。

「当初予算」の予算編成は以下のような流れで行われ、議会に予算案として提出されます。

※時期は、2019 年度予算編成をもとにしています

